

問題は次のページから始まります。

一

次の各問いに答えなさい。

問一 次の各文の――線部のカタカナを漢字に、漢字をひらがなに直しなさい。

- 1 ナミキ道をゆつくりと散歩する。
- 2 体育館でヘイ会式が行われる。
- 3 発表のあとにホ足説明をする。
- 4 先生が家庭ホウ問をする。
- 5 野球の試合を見て興奮する。
- 6 病院で内臓の検査をする。
- 7 担任の先生に相談する。
- 8 文章の段落に気をつけて音読する。

問二 次の（ ）の読みをそれぞれ漢字で答えなさい。

1 判断を（あやま）ってしまった。
2 （あやま）って仲直りをする。

3 成功を（おさ）めた。
4 税金を（おさ）めた。

5 （あたた）かい日差しが心地よい。
6 （あたた）かいお茶を飲む。

二

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

現存するネコ科動物の大きさは種ごとに大きく異なる。巨大なシベリアトラの体重は320キロ超になるが、アフリカ南部に生息するきやしゃでかわいいクロアシネコ、インドとスリランカにすむサビイロネコは0.9〜1.8キロしかない。このように体格は100倍以上違っても、すべてのネコ科動物には、ネコをネコたらしめる共通点①がいくつかある。2013年に発表された研究で、シベリアトラとイエネコはDNAの95.6%を共有していることが指摘された。この類似性は、獲物を発見し捕獲するというネコ科に共通するニースに関係しているのかもしれない。

B ネコ科動物の視力は優れている。大きく正面を向いた両目で対象を立体的に捉え、距離を判断する。瞳孔が大きく開くため、光の少ないところでも見える。鋭い嗅覚と聴力は、縄張りを特定し、交尾の相手を探し、えさの場所を突き止めるのに役立つ。同様に体格を捕食者のニースに特化したつくりになっている。強固だが柔軟な背骨と特殊な筋肉組織はスピードと機敏さと耐久力をもたらず。後ろ脚が強いいため、かなりの高さまでジャンプしたり、獲物を追うため急加速したりすることも可能だ。

イヌの歯が48〜50本あるのに対し、ネコの歯は28〜30本しかなく、肉食動物としては最も少ない。ネコ科動物は牙のような上歯と、同じくらい鋭い下顎の歯を使って獲物の骨から肉を引きはがし、肉の塊を丸のみする。短くて筋肉質の顎で、猛烈に強くかむことができるのだ。

ネコはみな足音を立てずに歩く。軟らかな肉球のついたつま先で歩行するためだ。ネコ科動物はみな木を登り、敵から身を守り、獲物を押さえつけるのに有利な爪を備えているが、それぞれの指に伸縮性の靱帯があるため、爪を自在に出したり引っ込めたりできる。地面でこすれることがないので、ネコの爪は常に鋭くとなり、臨戦態勢にある。

ネコの体は、獲物に忍び寄り捕まえるのに適した構造へと進化した。素早く収縮する筋細胞のおかげで、走り出せばたちまちトップスピードに達する。**I**、その力強い加速はごく短時間しか持続しない。陸上キョウギに例えるなら、ネコはマラソンランナーではなくスプリンターだ。一方、獲物に忍び寄る草むらを密に通り返け、じっと待ち伏せることができるのは、ゆっくり収縮する筋細胞のおかげだ。

ネコは小腸がとても短い^{こうそ}ため、ほっそりした体型が維持^{いじ}され、機敏^{きびん}に獲物を追いかけることができる。

Ⅱ、食べた肉の尿酸^{にようさん}を消

化^{こうそ}する酵素も備えている。

ボブキャット、オオヤマネコ、カラカルなど、いくつかの例外はあるものの、ほとんどのヤマネコの尾は短くても体長の3分の1ないし2分の1の長さがある。長い尾は寒い夜^Cの体温維持に役立っただけでなく、方向舵^{ほうこうかじ}としても機能する。ネコは尻尾^{しっぽ}のおかげで、木々の間や岩だらけの場所を移動するときもバランスを失わず、獲物を追うため素早くターンすることができ^だるのだ。

多くのネコは A 性^{せう}で、獲物たちが出歩く夜明けと夕暮れに最も活動的になる。狩^かりをしないときは1日13〜16時間眠^かっていることも珍しくない。次の狩りに備えてエネルギーを温存しているのだ。ネコはたまたま通りかかった動物を追いかけるよう、瞬時^{しゅんじ}に目を覚ますことができる。

喉^{のど}をゴロゴロ鳴らす音や猛々^{たけだけ}しい咆哮^{ほうこう}もネコ科動物の共通点だ。かつては、喉にある舌骨という特殊な骨の違いから、喉をゴロゴロ鳴らすネコは咆哮しないし、逆もしかりと考えられていた。

Ⅲ、その後の研究により、ゴロゴロか咆哮^{ほうこう}かは、舌骨ではなく咽頭^{いんどう}の構造の違いによって分かれることが明らかになった。

わずかな変異はあるものの、フクザツな適応^③を遂^とげた体のおかげで、ネコ科動物は森や砂漠、サバンナやツンドラ、木々の中や川の土手沿いなど多種多様な環境^{かんきよう}で生きられるようになった。人間の家と心の中にすみついたネコたちも例外ではない。

(『ネコ全史君たちはなぜそんなに愛されるのか』日経BPMマーケティング)

問一 〓線部①く③のカタカナを漢字に、漢字をひらがなに直しなさい。

問二 〓線部A「シベリアトラとイエネコはDNAの95.6%を共有している」とありますが、シベリアトラとイエネコの違うところは何ですか。本文中から二字でぬき出して答えなさい。

問三 〓線部B「ネコ科動物の視力は優れている」とありますが、何がすぐれていますか。「くこと。」に続くかたちで二つぬき出して答えなさい。ただし、一つめは七字、二つめは十三字とします。

問四 空欄 くうらん I く III にあてはまる語句として最も適切なものを次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア だが イ また ウ つまり エ ただし

問五 — 線部 C 「夜」とありますが、月の動き方について次の文の ① く ③ にあてはまる方角を答えなさい。

月は ① の方からのぼって、 ② の高い空を通過って、 ③ のほうにしずむ。

問六 空欄 A に当てはまる四字熟語として適切なものを A よりあとの文章をヒントにして、最も適切なものを次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 一朝一夕 イ 朝改暮令 ウ 薄明薄暮 エ 明鏡止水

問七 本文の内容にあてはまるものとして次のア、エの中から最も適切なものをすべて選んで記号で答えなさい。

ア ネコは五感が優れている動物だ。

イ ネコは多数の歯で獲物の骨から肉をはがすことができる。

ウ ネコはゴロゴロと喉を鳴らす。

エ ネコは短距離走が得意だ。

オ ネコは多種多様な環境で生きられるように適応した。

カ ネコはショートスリーパーだ。

三

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

給食をなかなか食べ終わらない女子がひとりいたため、あとかたづけに時間がかかり、ぼくは大急ぎでテニスコートにむかった。一年三組の教室がある四階から一気に階段をかけおり、昇降口を出てグラウンドに目をやると、テニス部の一年生たちが道具小屋のまえにかたまっているのが見えた。

「太二、おせえよ」

みんなより頭ひとつ背の高い武藤に呼ばれて、道具小屋へとダッシュしながら、ぼくはグーをだそうか、パーをだそうか悩んでいた。きのう、おとといとグーで助かっていたから、みんなそろそろパーをだそうと考えているかもしれない。いや、そうはいつでも、やっぱりグーがつづく気がする。

朝練で荒れたコートを、昼休み中にブラシでならすのは一年生の役目だった。ただし、二十四人全員でする必要はないので、グーパーじゃんけんの一発勝負で人数の少ないがわになった者たちが四面あるコートの整備に当たる。同数の場合は、前日に負けた手をだしたがわが負けになる。

「一中の男子テニス部に代々うけつがれてきた伝統だからな。誰かがひとりでやることになったとしても、手伝ったりするなよ」

四月半ばに二年生の中田さんから言われたときに、グーパーじゃんけんだと結果がかたよって不公平になるのではと、ぼくは心配になった。

「まあ、やってみな。おもしろいもんで、あんがい公平にいくから。いろんなメンバーでコート整備をするようになって、自然にチームワークもよくなるしな。毎日自分がやるものだとおもって、助かったらラッキーくらいに考えておくのが無難だけど、本気で読みを入れて勝負するのもおもしろいぜ。ただし、かげで相談をして、誰かひとりをハメるのは絶対になしだぞ。わかったな」

いまはキャプテンになっている中田さんは、いかつい顔に似合わず気がきくひとらしく、こちらの懸念をあらかじめうち消してくれたのにはありがたかった。さらに、いくら伝統だといっても、じゃんけんのせいで人間関係が悪くなっては意味がない。そのときは当番制に切りかえてやるから、遠慮なく言いに来いとフォローまでしてくれたが、ぼくは翌日から昼休みのじゃんけんが気になってしかたがなかった。

もっとも、中田さんが言ったとおり、たいていは十四人对十人くらいの結果におちついて、自分が少ないほうにはいったときでも余裕をもってコート整備をすることができた。一度だけ、グーが二人になったことがあり、ぼくもそのうちのひとりだった。勝負の結果を嘆いて
いるひまなどなく、二人ともが左右の手に一本ずつブラシを持ち、無言でコートを掃いてまわった。どうにかやりおえたときに昼休みの
終了を告げるチャイムが鳴りだして、大急ぎでブラシをかたづけ、教室にかけこんだあとはしばらく汗がひかなかった。

ひとりになったら、絶対に時間内にはおわらない。そのときそうおもったが、さいわい十月半ばの今日まで、二十二人対二人というのが
最大のかたよりだった。でも、そろそろ、グーかパーがひとりだけということになるかもしれない。

「おい、末永。早く来いよ」

ぼくがみんなの輪にはいりかけたときに武藤がどなって、ふりかえると末永が昇降口から出てきたところだった。長髪を、トレードマ
クのヘアーバンドでまとめた末永が、長い手足をふって一気に迫ってくる。

「太二、パーな」

武藤は小声で言う、そっぽを向いた。いままで一度もなかったことだが、みんながなにをしようとしているのかはわかった。やめたほ
うがいいよ、という言葉が口から出かかったときに末永が到着した。

「悪い悪い。給食のあと、腹が痛くなってさ」とおくれた言いわけをする末永を尻目に、

「グーパー、じゃん」とみんなが声をだした。

「あつ」

自分だけがグーだとわかり、末永がしゃがみこんだ。うなだれた顔にかかった髪のスきまから、とがらせた口が見えた。

「すげえ偶然だな。おい、末永。手伝ってやりたいのは山々だけど、よけいなことしたら先輩たちに怒られるからよ」

武藤は早口で言う、さあ行こうぜというように右腕をふった。ぼくは残って末永と一緒にブラシをかけようかとおもったが、久保に肩
をたたかれて、みんなにまざって小走りで校舎にもどった。

たまたま末永がおくれたのかこつけて、武藤がワナをしかけたのだ。もしも末永と同時に到着していたら、ぼくもグーをだしていたかもしれない。ぎりぎりセーフと安堵あんどすると同時に、末永がキャプテンの中田さんか顧問の浅井先生こもん あさいにこのことを訴えたいへんだと

A がよぎった。

中田さんはふだんはおだやかだが、一度怒ると簡単には相手を許さなかった。夏休みの練習で、数人の二年生が日かげでサボっていたときには、自分も一緒にやるからと二年生全員で二百回素振りすぶりをした。あらかじめ注意されていたのに、末永ひとりをハメたことがばれたら、どんな罰ばつを与えられるかわからない。

こんなことなら武藤の言いなりになるんじゃないかと、ぼくは後悔こうかいしていた。でも、聞こえなかったふりをしてグーをだしていたとしても、自分だけいい子になりやがってと、みんなの反感を買っていただろう。

久保が武藤についてのも、ぼくにはショックだった。久保は小学一年生からの友だちで、超ちようがつくほどまじめなやつだ。そのぶんかけひきがへたで、肝心かんじんなところで相手に裏をつかれる。グーパーじゃんけんでもよく負けて、三回に二回はコート整備をしていた。だから、というわけでもないが、ぼくは久保ならこういうときは絶対にとめるだろうとおもっていた。

武藤と末永はプレースタイルがよく似ていた。二人とも百七十五センチをこえる長身で、威力いりよくのあるサーブ&ボレーを武器にしている。ツボにはまると手がつけれないが、ベースラインでの打ちあいをやや苦手くずにしている、自分のイージーミスから崩れることが多いところまでそっくりだった。

ただし、武藤が練習熱心なのに対して、末永はすぐに手①をぬこうとする。筋トレのときに、末永がまじめにやらなかったせいで、スクワットや腕立うでたて伏せの回数を増やされたことも一度や二度ではなかった。だから、武藤が中心になってハメたのはたしかに行きすぎだが、末永にまったく非がないわけではなかった。

そうはいつても、ひとりで四面のコートにブラシをかけるのはたいへんだ。末永の性格からすると、途中で投げださないとわかぎらない。それをきっかけに末永が退部したら、後味②の悪いことになってしまう。

昼休みのおわり近くに、四階の教室の窓からグラウンドに目をやると、末永はまだブラシをかけていた。かなりがんばったようで、残りは半面だったが、そこで昼休みの終了を知らせるチャイムが鳴りだした。両手にブラシを持った末永は前かがみになって最後の力をふりしぼり、コート^{はし}の端にたどり着くなり地面にひざをついた。

末永は放課後の練習にいつもどおり参加したので、^Cぼくは胸をなでおろした。今回は大ごとにならずにすんだが、昼休みのグーパーじゃんけんがあるかぎり、こうした問題はくりかえされるのだとおもうと^③気が重かった。なにより、武藤の言いなりになってしまった自分が情けなかった。練習にも集中できず、ぼくはどうすればいいのかを考えながら家までの帰り道を歩いた。

(佐川光晴「四本のラケット」)

問一 線部①～③の本文中での意味として最も適切なものを後のの中から一つ選んで記号で答えなさい。

①「手をぬこうとする」

ア 人に面倒をかける

ウ いそがしくなる

イ しなければならないことを十分にしない

エ ほかのことまで手が回らない

②「後味の悪い」

ア 物事が終わったときによくない感じが残る

ウ 終わったあとであわてても意味がないこと

イ よくないことが次々と起こること

エ 物事が終わってすっきりとすること

③「気が重かった」

ア 心配でイライラしたりする

ウ いやな気持ちでさっぱりしない

イ 不愉快な気分になる

エ 心を一つのことに集中できない

問二 — 線部 A 「そうおもった」とありますが、どう思ったのですか。三十字以内で答えなさい。

問三 — 線部 B 「みんながなにをしようとしているのかはわかった」とありますが、何が分かったのですか。次の空欄^{くうらん}にあてはまる言葉を三つ、空欄に書いている字数で本文中からぬき出して答えなさい。

① 二字 が ② 二字 に ③ 五字 を一人でさせようとしたこと。

問四 空欄 A に入る言葉を漢字二字で答えなさい。

問五 ――線部C「ぼくは胸をなでおろした」とありますが、具体的に誰がどのようなことをしたから「ぼくは胸をなでおろした」のですか。二十五字以内で答えなさい。

問六 中田さんの人柄についてあてはまるものを次のア～オの中からすべて選んで記号で答えなさい。

- ア 一年生の後輩たちにコート整備を押しつけるいやな人。
- イ ふだんはおだやかだが一度怒ると簡単に相手をゆるさない人。
- ウ 一年生の後輩のことを気にかけてくれるやさしい人。
- エ コート整備のルールを作った人。
- オ いかつい顔をしていて、怒りっぽい人。

問七 本文中の「**あらかじめ**」と同じ意味・用法の「あらかじめ」を使って短文を作りなさい。ただし、解答には主語と述語を必ず使いなさい。また、本文中の語句や文を利用しただけの解答は不正解とします。